



勝山市長 池田勤也

### ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。市民のみなさんにはおそろいで清々しい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平素は市政伸展のため、格別のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は五六異常豪雪、七月の集中豪雨と、相次ぐ災害に見舞われ、市民生活にも多大の影響を及ぼしましたが、いま、その復旧に鋭意取り組んでいるところであります。

一方、市民のみなさんがたのご支援により、待望の福井―勝山―小松線が国道四一六号線として、昇格いたしましたことはまことに喜ばしいことであります。今後、この早期改修に向かって強力な運動を展開していく必要があります。引き続きご協力をお願い申し上げます。

また、当市の観光拠点となる「越前大仏」建立も、十一月に資材の一部が到着し、いよいよ、今春雪解けとともに、本格的に着工する運びとなりましたが、なにごん数年を要する大事業でもあり、今後、この受け入れ態勢に万全を期していきたいと思っております。

国の財政再建計画により、地方をとりまく内外の情勢はまことに厳しいものがありますが、活力ある郷土の創造をめざし、市の基本構想による「操環境都市」実現のために全力を傾けるべく、いよいよ心を新たにいたしております。

年頭にあたり、市民のみなさんがたのご多幸をお祈りいたしますとともに、本年も格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



勝山市議会議員 今井三右衛門

### ごあいさつ

あけましておめでとうございます。

お健やかに新春を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年は、異常豪雪と集中豪雨により、当市に甚大な被害をもたらしたのでございますが、各位の特段のご理解とご尽力によりまして、生活環境の整備充実をはじめ各般にわたり、市政の一層の進展をみることでございましたことは、まことにご同慶にたえません。

さて、新年を迎えるにあたり、私は新たな決意と情熱をもって、多年の悲願が国道四一六号線としての結実をみました福井・勝山線を核とした道路網の整備充実、無雪害都市づくりの強力な推進により、雪国という宿命観、諦観を払拭することを最重要目標に、二十一世紀へ向けての操環境都市実現のため、最大の努力を傾注する所存でございます。

当市は、いま、越前大仏の建立による観光都市への脱皮、総合振興計画を軸とした市の未来像に大きな夢を託しておりますが、行政改革の断行、激動の国際社会の中にあつて、その前途は極めて多難でございます。

どうか、市民の皆さんがたにおかれましても、市政進展のために倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、各位の限りの躍進を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

# 越前大仏

## 雪解けとともに

### 着工

待望久しかった「越前大仏」が、今春、雪解けとともに本格的に着工されることになりました。

田畑五ヘクタールにいろいろな建物や施設がつくられます。

「越前大仏」は、名誉市民の多田清氏が父祖の墳墓の地、勝山市に建立しようと、昭和四十二年ごろ発心されたものです。近年に至りようやく具体化、昨年十一月には資材の一部も到着しました。

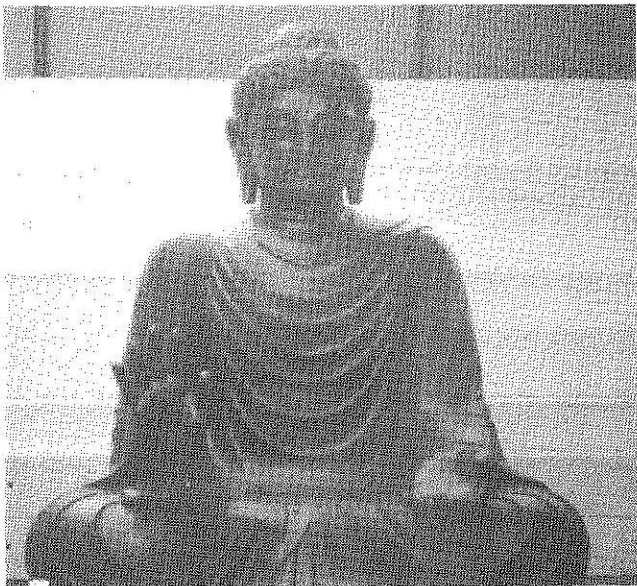
「越前大仏」の原型は、奈良東大寺の大仏建立の手法となった中国洛陽の石窟寺の龍門大仏です。盧舎那仏（るしやなぶつ）といい、万物を照らす宇宙的な存在の仏さまで、大日如来と同じ仏さまです。

建立地は、泰澄大師ゆかりの地、片瀬地係の大師山のふもとです。「越前大仏」の用地面積は、山林約十七ヘクタール、田畑約五ヘクタールの計約二十二ヘクタールですが、そのうち、

六段で、三・三の蓮台（れんだい）の上に座っておいでになります。大仏さまには金色の大きな背光が付けられ、全体の高さは、二十五・五段にもなりま

す。奈良東大寺の大仏が、ずんぐり型なのに比べ、顔、首はス

製作は、古典工芸では定評のある京都市の金井工芸製造所（金井信義社長）があたります。京都市上鳥羽の国道一号線沿



越前大仏10分の1の原型

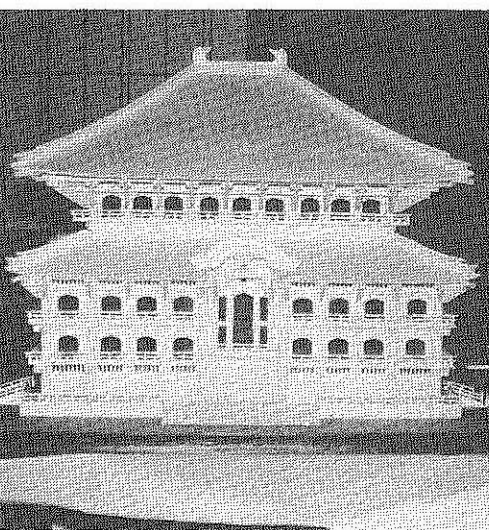


京都 上鳥羽の越前大仏製作工場

大仏さまがおさまる大仏殿は間口五十八・二メートル、奥行四十八・二メートル、高さ五十二・一メートルです。

### 大仏殿の高さ 市役所の四・七倍

製作の方法は、原型（十分の一の模型）から右こうで型をと



大仏殿の模型

市役所の建物と比較しますと間口で二倍、奥行で二・一倍、高さで実に四・七倍という大きさで、その規模の雄大さがわかります。

建物の構造は、鉄骨・鉄筋コンクリート造りで、屋根は銅板二重ぶき、豪雪を考慮して上屋根と下屋根が同じ大きさであることが特徴です。

大仏さまは正面に安置されますが、脇侍仏（きょうじぶつ）として、その両脇に羅漢（らかん）と菩薩（ぼさつ）が、それぞれ安置されます。

三方の壁には、十一段に区切った棚をつくり、大小合わせて約千四百体の石仏、金仏を安置します。この石仏、金仏は、すでに八百二十五体ができ上がり相互タクシー本社の敷地内に仮安置されています。

五重塔は、大仏殿の北側に建てられますが、高さは相輪も含めて七十三段です。五重塔の各層には仏さまが安置されます。

五重塔は本来ながめるもので登るものではありませんが、だれもが気軽に登って、市内を展望できるようにと、ゆるやかな階段とエレベーターを設置します。



昨年11月16日、資材の一部(参道の敷石など)が到着しました。

大仏殿と五重塔の間には、中国北京の北海公園にある中国国宝第一号の九龍壁（きゅうりゅうへき）と同じものを、中国政府の承認を得てつくられます。

大仏殿と中門は回廊で結ばれ雨や雪でも参拝できるように配慮されています。

大仏殿と中門は回廊で結ばれ雨や雪でも参拝できるように配慮されています。

完成品のほとんどが、相互タクシー本社に届いており、勝山市の現地で組み立てるときには中国人技術者を招いて行います。

総事業費は百五十〜二百億円ともいわれます。

大仏殿と中門は回廊で結ばれ雨や雪でも参拝できるように配慮されています。

### 越前大仏建立予想配置図

